



# 健康のまちづくり友好都市連盟

## 顧問

本連盟では、各分野でご活躍の先生方にご高配賜り、無償でアドバイザーになっていただいております。適宜アドバイスを受けることが可能です。（特別名誉顧問には、連盟全体の方針へのアドバイスを頂戴しております。）

以下に、本連盟顧問をご紹介します。（50音順）

令和3年8月1日現在

### 秋山美紀（あきやま・みき）氏

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科/政策・メディア研究科 教授

健康・医療分野のコミュニケーション、コミュニティの健康を専門領域として、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス等で教鞭をとる傍ら、山形県鶴岡市にて、市民のための健康情報ステーション「からだ館」を、2007年より運営している。地元行政や地区医師会、市民ボランティアらと連携しながら、健康な地域づくりに取り組んでいる。がん戦略研究「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」、在宅医療連携拠点事業等にも関わってきた。主な著書は、「コミュニティヘルスのある社会へ」「つながり」が生まれる「いのちの輪」（岩波書店、2013年）、「地域医療を守れ」（岩波書店、2008年）、「価値創造の健康情報プラットフォーム」（慶應義塾大学出版会、2016年）。



### 猪飼周平（いかい・しゅうへい）氏

一橋大学大学院社会学研究科/社会学部 教授

一橋大学大学院社会学研究科教授、社会政策、医療政策、医療史専攻。1971年生まれ。東京大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。佐賀大学経済学部助教授、一橋大学大学院社会学研究科准教授をへて現職。主な著書に、「病院の世紀の理論」（有斐閣、2010年）。



### 伊関友伸（いせき・ともとし）氏

城西大学経営学部マネジメント総合学科 教授

1987年埼玉県入庁、県立病院課、精神保健総合センターなどを経て、2004年城西大学経営学部准教授に。研究テーマは、行政評価、自治体病院の経営、保健・医療・福祉のマネジメント。著書に「自治体病院の歴史-住民医療の歩みとこれから」（三輪書店）、「まちの病院がなくなる!? 地域医療の崩壊と再生」（時事通信社）など。



### 尾身茂（おみ・しげる）氏

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO） 理事長

名誉世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局長。自治医科大学名誉教授。1978年自治医科大学卒業。1999年第5代WHO西太平洋地域事務局長。2009年よりWHO執行理事。2012年より独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（RF0）理事長、内閣官房新型インフルエンザ等対策有識者会議の長。2014年より独立行政法人地域医療機能推進機構理事長 現在に至る。また社会貢献活動として、組織の利害やイデオロギーにとらわれず将来の社会づくりに貢献すべく2015年9月NPO法人「全世代」を設立。



### 木村俊昭（きむら・としあき）氏

東京農業大学農生命科学研究所 教授

北海道生まれ。慶應義塾大学大学院博士課程単位取得。1984年小樽市、2006年内閣官房・内閣府、09年農林水産省等にて、地域創生、担い手養成、地域と大学との連携、6次産業化等を担当。現在、東京農業大学教授・博士（経営学）、東京大学大学院客員教授、兵庫大学大学院客員教授、関西大学客員教授、内閣官房シニアマネージャー、総務省地域力創造アドバイザー、日本地域創生学会会長、実践総合学会理事等として、大学・大学院講義のほか、国内外で講演や現地アドバイスを実施中。NHK番組プロフェッショナル「仕事の流儀 木村俊昭の仕事」ほか出演、単著「『できない』を『できる』に変える」（実務教育出版）、「地域創生の本質-イノベーションの軌跡-」（ぼるす出版）など多数。2021年1月出版の単著「地域創生の真実-『五感六育レジスタードマーク』の全体最適な立体的ストーリー政策の創発-」（農の蔵文庫）をテキストに講義、講演や現地アドバイスを展開中。



### 西上ありさ（にしがみ・ありさ）氏

studioL東京 コミュニティデザイナー

早稲田大学社会学部卒業。2005年よりstudioL参画。2007年から2012年にかけて海士町のまちづくりに携わる。現在は、プライマリヘルスケアのアプローチを尊重し、地域でのコミュニティデザインに取り組む。主な仕事に、住民参加による総合計画の策定、地域の特産品開発・ブランディング、真落診断・真落支援、病院づくり、美術館づくり、地域包括ケアの実践などがある。



### 遠見公雄（へんみ・きみお）氏

NPO法人「地域医療・介護研究会 JAPAN」 会長

1968年京都大学医学部卒業、大和高田市立病院、京都大学医学部附属病院を経て、1978年より赤穂市立病院外科医長、1987年より同病院長、2009年より同名誉院長。一般社団法人全国私病院長会会長、公益社団法人全国自治体病院協議会名誉会長など、日本の病院を長きにわたり専き、厚生労働省社会保障審議会医療部会委員をはじめとする国・県・自治体等多数の要職を兼任。現在は自ら立ち上げたNPO法人「地域医療・介護研究会 JAPAN」会長として、益々積極的に日本の医療・介護問題に一石を投じている。著書に、「令和の改新 日本列島再輝論」（幻冬舎）。



### 堀田聡子（ほった・さとこ）氏

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授

東京大学社会科学研究所特任准教授、ユトレヒト大学客員教授、国際医療福祉大学大学院教授を経て2017年4月より現職。専門はケア人材政策、人的資源管理。博士（国際公共政策博士）。現在、社会保障審議会介護給付費分科会及び福祉部会、地域包括ケア研究会、地域力強化検討会等委員。訪問介護員2級、メンタルケアスペシャリスト、「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2015」リーダー部門入賞。



### 町永俊雄（まちなが・としお）氏

元NHK福祉ネットワークキャスター 福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」「NHKスペシャル」などのキャスターとして、経済、暮らし、教育、福祉などの情報番組を担当。2004年から「福祉ネットワーク」キャスターとして、障がい、医療、うつ、認知症、家庭など福祉課題を伝える。現在はフリーの福祉ジャーナリストとして高齢社会や地域福祉をめぐり、番組や執筆の他、各地でシンポジウムや講演活動をしている。



### 和田行男（わだ・ゆきお）氏

株式会社大起エンゼルヘルプ 取締役

1987年国鉄マンから高齢者福祉へ。収容・保護（放り込んで・閉じ込めて・何でもしてあげるおせっかい介護、社会から隔離・生活機能を廃用させてしまう介護）型介護に大いに疑問をもち、生活支援でも認知症という状態になっても人として最期まで生きる支援の在り方を追求してきた介護福祉士。その活動の一環がNHK番組「プロフェッショナル～仕事の流儀～」で紹介される。著書：大逆転の痴呆ケア（中央法規） ほか



## 特別名誉顧問

### イチロー・カワチ氏

ハーバード公衆衛生大学院社会行動科学学部 学部長・教授

1961年東京生まれ。12歳で父親の仕事の関係でニュージーランドに移住。オタゴ大学医学部卒業。同大学で博士号を取得。内科医として同国で診療に従事。2008年にハーバード公衆衛生大学院社会行動科学学部長に就任し現在に至る。国際的な科学雑誌である「Social Science & Medicine」の編集長も務める。また、アメリカ医学研究所（IOM）や米国科学アカデミー（NAS）のメンバーに選出される。社会疫学の研究に加え、もう一つの大きな使命は日本酒と寿司の素晴らしさを世界に広めること。

